

私にとつてのふるさと

奈良県大和郡山市 仲村菊江（三和村出身）

妙高、焼山、頸城野の山々と一面の緑豊かな田園風景。「ふるさと」を離れて三十数年経った今でもあの山、道、川は……と、懐かしく思い出されます。

つい先頃まで放映されていた朝の連続テレビ小説「こころ」の舞台となった「魚沼の里」に見る風景・方言に郷愁を覚え「ふるさと」への想いを一層深く感じたところでした。

遠く離れてこそ、その素晴らしさを再認識し、そして懐かしさと同時に大切に想えた「ふるさと」は、私にとつて何物にも替え難い「心の宝物」です。

さて、私事ですが高校卒業後一年間の東京暮らしの後、子どもの頃からの夢であった栄養士を目指し、はるばる叔母のいる奈良で二年間を過ごしました。そして念願の栄養士として大和郡山市に三年余勤めることが出来ましたが、昨年止むなき事情で退職いたしました。

そこで現在は、以前仕事の傍ら二十年余趣味として習っていた民謡を、回りの方の人達の勤めもあり、会を設立し、会員と

共に各種コンクールに挑戦しながら頑張っているところです。

振り返ってみると、新潟で生まれ、育った辛抱強さと根気の良さが後押ししてくれたように思います。

民謡にはそれぞれがもつふるさとの心や温もりがあります。それをいっばい感じながら今後も唄って行きたいと思っています。

おわりに、ふるさとを身近に感じたくてJネット会員になって数年経ちますが、まだ一度も皆さんの企画に参加しておりません。ぜひ一度、機会を作って参加させていたきたいと思います。未永く続けて下さいますようお願い申し上げます。

